

むらまち通信

第143号

2014年2月3日 発行



「スノーシューツアー in 八剣山」を実施しました。



○ 実施状況

- ・日 時：平成26年2月2日（日）10時00分～
- ・場 所：八剣山果樹園 → 八剣山北西部平原 → 八剣山西側登山口 → 八剣山ワイナリー
- ・主 催：八剣山発見隊
- ・参加者：14名

1年で一番寒い季節であるこの時期のスノーシューウォーキング。雪のない季節は笹や細い木々、風倒木があって立ち入ることすら不可能な箇所が、深い雪におおわれたこの季節はスノーシューを着けることで簡単に歩くことができ、また、冬でなければ見られない風景、いろいろな鳥の鳴き声や自然の中の小動物の活動を観察できます。

今年は八剣山コースのほかに新たに豊滝コース及び小金湯コースでも行うこととして、1月12日に両コースの調査を実施しました。

豊滝コースは高台から見る八剣山とその奥の山並みが素晴らしい場所で、途中で熊の檻も見かけました。小金湯コースは豊平川の流れに沿った切り立った崖と、その上流に向かうと大きな砥山ダムのできを見ることのできるコースです。

このほか今年は農家との交流を図るため、各農家の皆さんに各農園についての講演をお願いしたところです。

薄日の差す穏やかな天候の中、八剣山果樹園で行われた自転車90分耐久レースのスタートを見てから出発しました。

枝に大きな雪の綿帽子を着けた果樹園や林の木々の間を抜けて、なだらかな丘陵や急な坂も参加者は健脚を競うように力強く雪原を踏みしめました。林の中には雪の上にウサギやキツネなどの小動物の足跡があちこちで見かけられたほか、静かな空間にいろいろな種類の鳥の鳴き声が聞こえました。

参加者の皆さんは穏やかな天候の中、ゆっくり歩くスノーシューによる雪原散策に、気持ちよい汗をかいていました。

また、亀和田氏に八剣山ワイナリーを案内してもらいお話を伺ったほか、昼食のときにはドイツのエコケータリングと八剣山ワイナリーの連携などの説明も受けたところです。



亀和田氏の講演



エコケータリングの説明



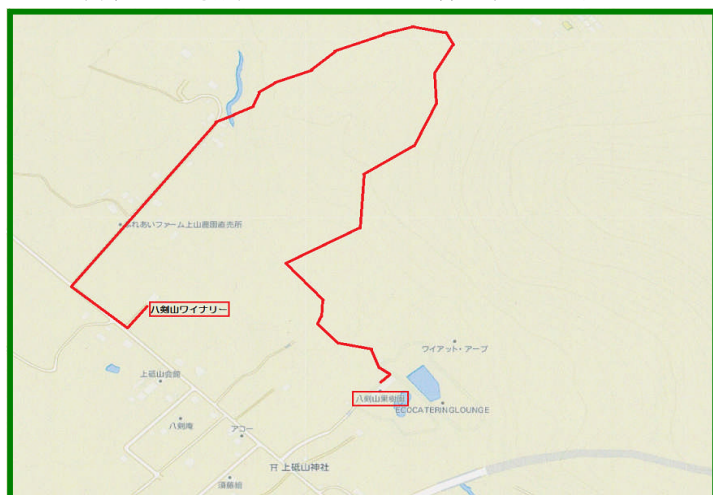
自転車の90分耐久レース



林の中を進む参加者



遠くにかすむ山々をバックに記念撮影



発行：塚本むらまち計画研究室
主 宰 塚 本 保 弘

061-1276
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10
携帯電話：090-7515-7057
E-mail：fhuKa@rose.ocn.ne.jp